

特ラ機構レポート

平成29年9月1日

No.158

平成 29 年度第 2 回理事会報告	2
最新の運用連絡・調整総件数	9
新規加入会員紹介コーナー	16
特ラ機構 第 17 回技術賞 授賞式 報告	18
特ラ機構 第 17 回技術賞 受賞者コメント	23
マラソン、駅伝・イベントの情報	27
ちょっとブレイク	28
第 45 回 東京モーターショー 2017 について .	29
2017 F1 日本グランプリに於ける 臨時無線局の運用について .	30
事務局便り	31

[理事会報告] 平成29年度 第2回 理事会

1. 日 時 平成 29 年 8 月 9 日（水） 15 時～ 17 時
2. 場 所 中野サンプラザ 6 階 フラワールーム
3. 出席者 （会長・理事長・理事・監事総数 22 名）
（出 席） 小野良行，北口紀雄（代理出席：北出和夫），小間新五，津田浩之，
東井幸吉郎，西澤勝之，橋本喜代志，矢野 学，渡邊邦男
伊藤 博（監事），國枝義久（監事）
（委任出席） 石橋 透，上田好生，小俣公洋，金光浩昭，鈴木久利，則行正信，萩原桂吾，
橋本秀幸，右田研介，吉田廣嗣，八幡泰彦
4. 平成 29 年度 第 2 回理事会 開催挨拶（理事長）
5. 議 題
〔報告事項〕
 - （1）運用連絡と調整の近況について
別紙資料にて説明（資料：29-02-01）
 - （2）特ラ機構レポート
157 号は、平成 29 年 6 月 30 日（金）に発送済。
158 号は 9 月上旬の発送予定とした。内容は「理事会報告」、「技術賞表彰式記事」などを掲載、「ちよつとブレイク」は当機構井上職員に執筆を依頼した。
 - （3）各委員会報告
 - ① 技術委員会
平成 29 年度 第 1 回技術委員会を 9 月 13 日（水）に開催予定。議題はチャンネルプランの改善ならびに 1.2GHz 帯の離隔距離などについて意見交換を行う。
 - ② 特ラ機構技術賞委員会
平成 29 年度「第 17 回技術賞」の作業は 7 月末にて終了した。
9 月から平成 30 年度「第 18 回技術賞」の準備作業に取り掛かる予定となっている。
11 月より公募を開始するにあたり関係各位に応募の呼びかけをお願いしたい。
また特 ラ機構レポート 11 月号・来年 1 月号に募集広告を掲載するとともに、応募用紙を入れ込む予定。
 - ③ 編集委員会
第 62 回編集委員会は、平成 29 年 7 月 25 日（火）に当機構事務局にて開催した。
出席者は 5 名。157 号を振り返って反省点等を確認した他、158 号への掲載記事の検討、記事作成分担を行なった。報告事項(2) 特ラ機構レポートを参照。
 - （4）総務省関係、ARIB 関連の報告
 - ① 総務省関連
 - a. 平成 29 年 6 月 1 日（木）、総務省と情報通信月間推進協議会が主催する「平成 29 年度 電波の日・

情報通信月間 記念中央式典」が帝国ホテル東京にて開催された。この式典と祝賀会に、当機構事務局の3名（木村、武藤、松崎）が参加した（武藤は先行して行われた情通月間推進協議会総会から参加）。

- b. 同6月1日（木）、総務省 関東総合通信局と関東情報通信協力会が主催する「平成29年度 電波の日・情報通信月間記念式典」が東京九段・ホテルグランドパレスにて開催された。この式典には、当機構事務局の3名（田中、渡邊、石川）が参加。『「電波の日」関東総合通信局長表彰』の個人表彰の1人として、当機構の田中章夫前理事長も表彰された。表彰理由は、「多年にわたり当機構理事長を務め、運用調整により特定ラジオマイクの円滑な利用を可能とするなど、地域の電波利用環境の整備と文化の振興に多大な貢献をした。」というものだった。

- c. 平成29年7月20日（木）総務省 総合通信基盤局 電波部移動通信課 伊藤英知 課長補佐が異動されたことに伴い、当機構事務局の4名（渡邊理事長、木村、甲田、石川）にて、後任の同課 石黒文博 課長補佐へ挨拶に伺った。

② ARIB 関係

- a. 平成29年6月13日（火）電波産業会会議室にて第33回素材伝送開発部会が行われ、作業班の活動報告ならびにSTD-B57などの改定について説明を受けた。

改定の概要は4K/8Kに対応する超高精細度テレビジョン放送システムに関する事柄が主だった。（出席者：甲田）

- b. 平成29年6月15日（木）ホテルニューオータニにて（一社）電波産業会 第7回定時総会が行われ、平成28年度事業報告・決算報告、平成29年度役員などが承認された。

総会に引き続き電波功績賞表彰式が開催され、「700MHz帯の終了促進措置に伴うFPUと特定ラジオマイクの周波数移行において、新周波数帯装置の開発、伝送実験の実施、技術標準の策定などを協力して進め、周波数共用のための運用調整のスキームを確立するなど、円滑かつ短期間での周波数移行と電波の有効利用に大きく貢献した。」ことが評価され、『700MHz帯の終了促進措置に伴う周波数移行の推進』として、日本放送協会、日本テレビ放送網、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビジョン各社の「700MHz帯周波数移行チーム」が総務大臣表彰を受けた。（出席者：甲田）

- c. 平成29年7月23日（木）東海大学校友会館（霞ヶ関ビル）にて、第104回規格会議が開催され、八幡会長の代理として渡邊理事長が出席した。通信・放送分野から21の規格改定や廃止、策定の議案が審議され、承認された。特ラ機構関連では、700MHz帯高度道路交通システム標準規格の改定があり、現行の路車および車車間通信に、路路間通信を追加導入し、道路交通情報の広域提供とITSのインフラの構築を可能にするという概要であった。（ITS：Information Communication Technology）

(5) TVWS 等利用システム運用調整協議会

- ① 分科会 平成29年5月22日（月） （出席者：渡邊理事長、甲田）
 ② 幹事会 平成29年6月 8日（木） （出席者：渡邊理事長、木村、甲田、石川）
 ③ 総会 平成29年6月22日（木） （出席者：渡邊理事長、木村、甲田）

22日13時から民間放送連盟会議室にて第5回総会が行なわれた。

総会に先立ち、情報通信研究機構 三浦氏による小型無人機の電波利用技術に関するセミナーがあり、その後、総務省 電波政策課 竹下周波数調整官の来賓挨拶があった。

総会では、平成28年度活動報告ならびに決算報告、会計監査報告、平成29年度収支予算書（案）についての審議があり、承認された。

◆組織・運営のあり方検討班について

総会のなかで当機構 渡邊理事長が、平成31年3月の周波数完全移行の時期を見据え、現在休会状態にある「組織・運営のあり方検討班」の再開を提案し、協議会事務局の電波技術協会も検討班の

再開に理解を示した。また、甲田からは平成 30 年度の運用調整費負担減について検討審議を要求した。

(6) 平成 29 年度情報通信月間協議会報告

- ① 6 月 1 日（木）、総務省と情報通信月間推進協議会が主催する「平成 29 年度 電波の日・情報通信月間 記念中央式典」が帝国ホテルにて開催された。

式典に先立って行なわれた情報通信月間推進協議会の総会には、武藤 GR が出席した。

- ② 6 月 14 日（水）総務省 関東総合通信局 21 階会議室において『周波数移行後の運用を考える』をテーマにした二部構成の「情報通信月間セミナー」が開催された。これは今年で 33 回目を迎えた情報通信月間（5 月 15 日～6 月 15 日）の参加行事である。

冒頭、当機構の渡邊理事長と関東総合通信局 無線通信部 陸上第三課 近藤静也課長の挨拶があった。

第 1 部のセミナー「現場としての運用連絡を考える」では、特ラ機構の甲田技術副委員長が講師を務め、新周波数帯への移行も終盤を迎え、急速に拡大する運用連絡から見えてきた「問題点と課題」の具体的な対応方法などについての解説が行われた。

第 2 部の「特定ラジオマイクの法制度」では、陸上第三課 上席電波検査官 小杉 功 氏が講師を務め、特定ラジオマイクの法的な制度として、電波法令の全体的な仕組みを説明し、特定ラジオマイク利用者に対して引き続き法令遵守の要望があった。

なお、今回セミナーには 43 名の応募があり、出席者は 39 名であった。

(7) 700MHz 利用推進協会関連（資料：29-02-02）

4 月 18 日、5 月 25 日、7 月 4 日に定例会議を行い、終了促進措置の取り組み状況などの説明を受けた。

6 月末現在、新機器申し込み（99.7%）、新機器納品（98.3%）、旧機器廃止（98.4%）と順調に推移している。

チャンネルリスト検討業務の引継ぎに関しては、4 月 6 日、5 月 9 日、5 月 31 日、7 月 19 日、7 月 20 日に実務者協議を行った。

(8) 平成 29 年度の年会費・運用調整費納入状況

年会費・運用調整費の納入状況は、7 月 31 日現在、1,177 件、117,874,732 円の請求に対し、1,032 件、113,971,298 円であった。まだ振込のない会員に対しては、個別に振込依頼をしていく予定となっている。

(9) 平成 29 年度の再免許手続き

今年度の再免許手続は、平成 29 年 5 月 29 日までに各対象会員へ再免許状を発送し、無事に終了した。平成 30 年度は 31 会員、721 局（うち、現行周波数帯は 10 会員、329 局）の再免許を予定している。今回から、新周波数帯の再免許が始まることになる。また、現行周波数帯については、周波数移行がほぼ完了していることから、実際の対象会員・局数ともこれよりかなり少なくなるものと予想される。平成 30 年度の再免許手続は、例年どおり平成 29 年 10 月末に、対象会員へ関係書類を送付する予定となっている。

(10) 平成 30 年度の予算書発送について

平成 30 年度も協議会の事務局一元化の見通しが立たない段階なので、運用調整費は平成 29 年度に引き続き暫定単価となった。

官庁・公共団体等で平成 30 年度予算の計上を必要とする 257 会員宛に、関係費用予算書を 7 月 24 日に発送した。

(11) ITS 実験（Intelligent Transport System）

トヨタ関係

- ・豊田市内 2ヶ所（大林町、トヨタ町南）の実験交差点でのモニター実験：現在も継続中。（平成 29 年 9 月末日までの実験計画書が提出されている）
- ・トヨタ自動車東富士研究所 ITS 実験場：平成 24 年 4 月から現在まで実験局の実験が継続中。（平成

29 年 8 月末日までの実験計画書が提出されている)

デンソウ関係

- ・現在は実験を行っていない。

※ ITS 実験で特定ラジオマイクに不具合が発生した場合は実験を休止することになっている。なお、中心周波数は 760MHz ± 5MHz となっている。

(12) 平成 29 年度 理事・各委員会・事務局体制

(資料：29-02-03)

(13) 短信、その他

① 「JPPA AWARDS 2017」贈賞式および総会アワード記念パーティー

5 月 26 日(金)新宿ワシントンホテル本館にて開催された。機構からは渡邊理事長と井上職員が参加した。

② 袖ヶ浦海浜公園遮蔽損調査

6 月 1 日(木)、袖ヶ浦海浜公園(千葉県袖ヶ浦市)に於いて、NHK アイテックによる特定ラジオマイクチャンネルリスト現地遮蔽損調査が行われた。これは、当初のシミュレーションで得られた値では、従来から同公園にて行われているコンサートで必要とする運用チャンネルを確保することが難しいとの判断から現地調査を行ったものである。その結果、総務省発表の 7 月 14 日版には、チャンネル増となった修正値での TV チャンネルが記載された。

③ 東京モーターショー 2017

6 月 21 日(水)、株式会社東京ビッグサイト、一般社団法人日本自動車工業会からそれぞれモーターショー担当者が来所。平成 29 年開催の日程等の情報を受けた。

東京モーターショー 2017 は、平成 29 年 10 月 27 日(金)～11 月 5 日(日)東京ビッグサイトで開催される。テーマは「世界を、ここから動かそう。BEYOND THE MOTOR」。

東京ビッグサイトは東 7-8 ホールが増設で展示面積規模が増えた上に、試乗体験プログラムを拡充し、臨界副都心エリアにサテライト試乗会場を設置、シャトルバス、タクシーで本展示場から移動する方式をとる。若年齢層や家族での来場が見込まれそうだ。

機構事務局からは、特定ラジオマイクの使用登録状況を共有する WEB サイトの詳細に修正依頼をし、了解を得た。

(14) 田中前理事長送別会

平成 29 年 5 月 11 日(木) 18:00～20:00 中野サンプラザ 11F ブロッサムルームにて、「田中理事長の勇退を祝う会」を開催した。ゴールデンウィーク明けの慌ただしい時期にもかかわらず 70 名の参加があり、700MHz 利用推進協会の中川 篤会長より祝辞、映像新聞社の信井文夫会長より祝辞と乾杯の発声を頂いた。穏やかな雰囲気での懇談は進み、田中前理事長からの謝辞、日本大学八木信忠名誉教授の中締めをもって閉会した。

(15) 八幡会長の近況

平成 29 年 7 月 27 日(木) 渡邊理事長、木村、井上の 3 名で八幡会長宅を訪問した。

総会も終了し、新年度の理事会開催前の時期だったこともあり、大きな報告事項はなかったが、事務局の現況等の報告に熱心に耳を傾けて頂き、対外的な諸問題についての相談には、積極的な意志を表明されるなど、終始元気な様子であった。

〔審議事項〕

(1) 会員の入退会 平成 29 年 4 月～平成 29 年 7 月分

〔入会〕

北海道：株式会社チーム，株式会社京王プラザホテル札幌（京王プラザホテル札幌）

東 北：CCS スタジオ株式会社

関 東：Dorier Japan 株式会社，株式会社スタジオアルタ（アルタシアター），
株式会社神奈川共立，株式会社大城音響事務所，株式会社ソファート，
大井 龍，株式会社アガサス，株式会社 Good Pass，金田圭介，
株式会社コンベンションリンケージ（川崎市スポーツ・文化総合センター），
株式会社アターブル松屋（タワーホール船堀）

東 海：有限会社エイト・ビート，有限会社ミューズ

近 畿：株式会社ワイドウィンドウズ

九 州：高山誠二

沖 縄：下地俊彦，株式会社ラグナガーデンホテル

〔退会〕

関 東：有限会社 Office MAMA，株式会社スペースシャワーネットワーク，
株式会社メニーガ，富岡 貢，有限会社ピッグ，
アーティストピアノサービス株式会社

(2) 会員数

平成 29 年 7 月末現在 1,206 会員

(3) 無線局数

平成 29 年 7 月末現在 42,519 局

内訳

① 現行・周波数帯

ラジオマイク 401 局

イヤモニ 69 局

合計 (a) 470 局

② 新周波数帯

ラジオマイク 39,547 局

イヤモニ 2,502 局

合計 (b) 42,049 局

③ 総合計 (a + b) 42,519 局

(4) 廃局数

現行周波数帯 21,121 局（平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

内訳：現行周波数帯（FPU1 ～ 4 帯）のみです。

(5) 事務局人事

① 中島嘱託職員の契約更改

中島嘱託職員は平成 29 年 6 月 30 日で雇用契約期限を迎えたが、現況、システム概要あるいは詳細の継承が終了していないため、平成 30 年 3 月 31 日までの嘱託契約を更改した。

② 武藤グループリーダーの契約締結

機構の内規では、再雇用 65 歳まで、役員以外は 70 歳を雇用限度としているが、業務の必要性を鑑みて契約を延長している。武藤リーダーは平成 29 年 8 月に 70 歳を迎えるが、グループリーダーとしての役割に加え、現在の有責業務である信越以南の免許申請業務の継承に期間を要すると判断し、平成 29 年 9 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日まで現状の条件で契約を締結する予定。

(6) 「Inter BEE 2017」に対する協力名義の使用許可

平成 29 年 4 月に（一社）日本エレクトロニクス協会より「Inter BEE 2017」への協力名義使用許可の要請があり、開催主旨に賛同し協力する事にした。

会期 平成 29 年 11 月 15 日（水）～ 17 日（金） 会場 幕張メッセ

(7) その他

審議事項終了後、渡邊理事長から「TV ホワイトスペース・チャンネルリスト（以下：CH リスト）の諸問題、特に申請業務について今後どのように対応すべきか、理事の意見を伺いたい。」ということで、話し合いがもたれた。

- ・新築や改築に関しては、施主あるいは設備施工業者に、特定ラジオマイクへの理解と CH リスト申請の必要性を即すための資料を用意し、説明・配信する。
- ・改めて、現在の CH リストの問題点を明示し、総務省および TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会と共有する必要がある。

上記の 2 点に関して、対応していくことになった

次回理事会

日 時：平成 29 年 10 月 11 日（水）15：00 ～ 17：00

場 所：中野サンプラザ 6F フラワールーム

最新の運用連絡・調整総件数(現行と新周波数帯)

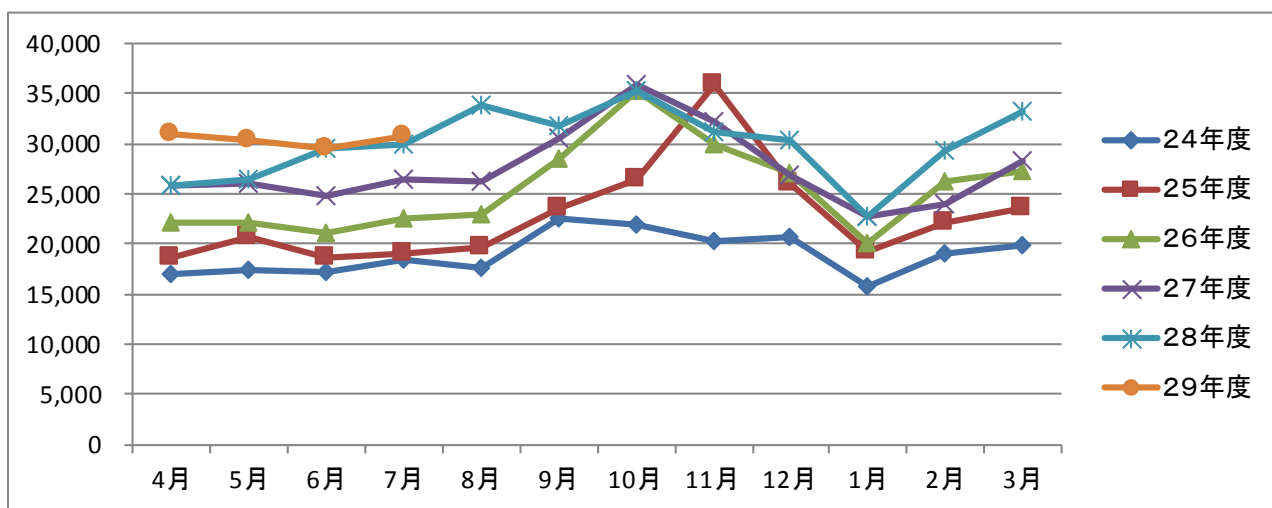
1. 最新の運用連絡・調整総件数 (現行と新周波数帯)

I 各年度月別運用連絡・調整総件数

2017.07.31 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	35,228	30,007	27,148	20,058	26,165	27,365	305,301	25,442
27年度	25,820	26,057	24,741	26,402	26,310	30,586	35,837	32,149	26,878	22,670	23,948	28,412	329,810	27,484
28年度	25,906	26,434	29,533	30,042	33,798	31,895	35,280	31,229	30,446	22,801	29,352	33,214	359,930	29,994
29年度	30,998	30,364	29,530	30,739										

各年度月別運用連絡・調整総件数の推移



2. 現行周波数帯の連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2017.07.31 現在

現行	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	32,370	27,277	24,323	17,557	23,285	21,999	286,141	23,845
27年度	19,408	19,144	16,944	17,433	16,050	19,315	21,702	19,445	15,748	11,171	10,619	10,320	197,299	16,442
28年度	6,745	5,949	5,169	4,365	4,381	4,249	4,180	3,124	2,708	1,474	2,344	1,697	46,385	3,865
29年度	798	574	476	572										

3. 新周波数帯の運用連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2017.07.31 現在

新	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,200	29,790	29,054	30,167										

4. 当期（平成 29 年 4 月～ 7 月）と 前期（平成28年 4 月～ 7 月）の

運用連絡・調整総件数の比較

(1) 現行周波数帯と新周波数帯の運用連絡・調整総件数

現行周波数帯では前期に比して 19,808 件の減

新 周波数帯では前期に比して 29,524 件の増

(2) 連絡件数と調整総数の比率

前期は運用連絡受信数の 1.2 倍が調整総数で、当期も 1.2 倍と同倍率の調整総数であった。

5. 運用連絡・調整総件数

平成 28 年度は平成 27 年度に比して 30,120 件増であった

Ⅱ . 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

（平成 29 年 4 月～ 7 月）

イベント名	日程	施設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ				計
					アナログ 2・4 帯	デジタル 1-4	TVWS 711-714	1.2GHz	
Gastech Japan2017 他	4/4 - 4/7	幕張メッセ	9	10	4		15	21	40
SPORTS DANSHI	4/12 - 4/14	幕張メッセ	1	1			12	12	24
実業家セミナー	4/14 - 4/16	幕張メッセ	1	1			20		20
THE GREAT ROCK'N'ROLL SEKIGAHAA 2017	4/15 - 4/16	幕張メッセ	2	2	18		12		30
バリアフリー 2017	4/20 - 4/22	インテックス大阪	7	9	3		21	8	32
Tokyo7thSisters	4/21 - 4/21	幕張メッセ	2	2			38		38
ジャパンホビーショー 他	4/28 - 4/29	東京ビッグサイト	5	5			1	24	25
食博覧会	4/28 - 5/7	インテックス大阪	9	13			56	24	80
ニコニコ超会議 ※	4/29 - 4/30	幕張メッセ	22	36	13		178	45	236
情報セキュリティ EXPO 他	5/10 - 5/12	東京ビッグサイト	10	14	2		10	27	39
ビューティーワールドジャパン 他	5/15 - 5/17	東京ビッグサイト	13	19	3		35	20	58
教育 IT ソリューション EXPO 他	5/17 - 5/19	東京ビッグサイト	13	15	3		8	37	48
ライブエンターティメント EXPO	5/21 - 6/2	幕張メッセ	5	6			52	6	58
オートサービスショー 2017 ※	6/1 - 6/3	東京ビッグサイト	15	18			69	32	101
東京おもちゃショー 2017	6/1 - 6/4								
FOOMA Japan 2017	6/13 - 6/16	東京ビッグサイト	11	13			12	22	34
次世代ワールドホビーフェア '17summer ※	6/24 - 6/25	幕張メッセ	10	16	7		59	46	112
第 30 回インターフェックス展	6/28 - 6/30	東京ビッグサイト	8	9			12	8	20
事業家セミナー 他	6/30 - 7/2	幕張メッセ	3	3	2		27		29
X FLAG PARK	7/8 - 7/9	幕張メッセ	1	3			43		43
SPORTEC 2017 他 ※	7/25 - 7/27	東京ビッグサイト	19	26			40	39	79

平成 29 年 4 月から 7 月の 4 ヶ月間に、大都市の主な施設で特定ラジオマイクが運用されたものは 98 催事（ツアー除く）。昨年は 59 催事だったので、この期間の特定ラジオマイクを運用するイベント件数は増加した。

運用数が 20 局を超えたものは 21 イベントあり、昨年の 3 倍近くになった。

TV-WS 帯・専用帯の使用局数が多くなり、同様に 1.2GHz 帯もイベントで多用されるようになっていくが、限られた周波数帯の中での使用になるので会員の皆様からの早めの運用連絡が重要となる。

チャンネルプランを作成、周波数配分を行ったイベント

① ニコニコ超会議

合計 236 局の内、TVWS 帯 178 局について周波数配分を行った。

委任状にもラジオマイクの送信周波数を分散させたく、送信機の第一希望、第二希望と条件欄に記載をしたが会員社のご理解、ご協力により限られた帯域の TVch に集中しないチャンネルプランを組むことができた。

しかしながら、TVWS 帯のプランにエネルギーを取られた分、1.2GHz 帯の運用に関しては会員各社のお力によって成功したものと感じている。(14 頁参照)

② 東京おもちゃショー 2017 & オートサービスショウ 2017

複合型展示会 TVWS 帯 東京ビックサイト東展示ホール 1~3 おもちゃショー 50 局、ホール 4~6 オートサービスショウ 19 局の TVWS 帯合計 69 局に関して周波数配分を行ったが運用された各ブースがホール内で分散していたのと、デジタルタイプが 1/3 近くになっていたため干渉検討が複雑にならず周波数配分はスムーズに行う事ができた。

③ 次世代ワールドホビーフェア' 17Summer

幕張メッセ展示ホール 9-11 に於いて TVWS 帯 59 局、1.2GHz 帯 46 局、に関する周波数配分を行ったが、TVWS 帯はホール 11 ワールドホビーフェアステージが D9000 デジタルを選択して頂いたことでアナログの干渉検討がホール 9-10. の 2 社に絞り込まれ、各ブースの運用数が平均 8.4 局と比較的多いなかプランはスムーズに組めた。

また 1.2GHz 帯も合計 46 局となったが、過去に干渉報告のあった周波数を中心に 2MHz のガードバンドを含み周波数配分を検討したが、1240.100MHz~1259.750MHz までフルに割り付けた周波数配分となった。

④ SPORTEC 2017 他

東京ビックサイトで行われた複合型展示会、フィットネス関係やヘルシーフード、健康志向の展示会を中心に介護などのヘルスケア関連に加えて、総務・人事・経理ワールドなどオフィス関係の展示が隣接するなど、運用連絡票の集計に苦労した。

TVWS 帯はデジタルの運用が 36 局中 24 局と多かったので、比較的プランは楽だったが、1.2GHz 帯の集計、周波数配分に関する委任状のお願いなど早めの対応ができず

関係者にご迷惑をお掛けしたことが反省点となる。

※チャンネルプラン・報告 甲田

Ⅲ 干渉報告

会員 No030-0218 有限会社グラシラス

TVWS 帯 52ch での干渉について

日 時	平成 29 年 6 月 18 日（日）午後 18 時 30 分頃
場 所	香川県高松市玉藻町 9-10 レグザムホール（旧アルファあなぶきホール）
催 事 名	「ゴスペラーズ 坂ツアー 2017” Soul Renaissance”」
報 告 者	現地担当者 株式会社アコーステック 長谷川 貴子
報告概要	6 月 18 日（日）午後 18 時 30 分頃 同会場で使用していた TVWS 帯 52ch、705.250MHz、706.75MHz に外来からと思われる干渉がありマイク信号が受信できない（途切れる）状態になった。障害は一度だけで、その後に発生はしていない。 固定局でもある当該施設での運用をホール側に確認したが、同日の運用は無かった。障害発生時、スペクトラムアナライザーにも TV52ch 全帯域に亘るような広い波形を確認した。当日は 52ch 以外 41ch,42ch を使用していたが干渉等の問題は無かった。 ※上記の連絡を受け同日の当該ホール周辺での TVWS 帯の運用を確認したがその他無線局の運用は無かった。

会員 No030-0781 ワイズファクトリー（大村洋一）

711-714MHz, 専用帯での干渉について

日 時	平成 29 年 6 月 20 日（火）16 時過ぎ
場 所	東京都江東区有明 東京ビッグサイト 東1ホール
催 事 名	「3D & バーチャル リアリティ展」
報告概要	6 月 20 日（火）16 時過ぎ、同会場で使用していた 713.025MHz または 713.825MHz のいずれかに約 30 秒間、外来からの干渉がありスピーカーより音声が出力された。（卓回りから少し離れたところで、作業をしていたため当該周波数の確認はできなかった。） Shure QLX-D デジタルを使用していたとのことで、妨害波は同社 QLX-D または ULX-D の 2 機種いずれかと考える。同日の東京ビッグサイトでの運用状況を確認したが、TVWS 帯ならびに 711-714MHz ラジオマイク専用帯での申請は無く、無届運用による混信ではないかと考える。

周波数配分時に提出する委任状サンプル

ニコニコ超会議 2017 平成 29 年 4 月 26 日
4/29(土)-30(日) 幕張メッセ

TVWS 帯 運用社 各位

表題のイベントは運用会社及び局数が増え、ガイドラインを超えました。幹事社あるいは事務局がチャンネルプランを作成、周波数配分を行います。

特定ラジオマイクご利用社は下記ご記入の上、事務局へ至急メールまたは F A X 送信してください。

チャンネルプランは出来次第お知らせします。(※配分された周波数による電波事故につきましては責任を負えませんので、ご了承ください)

特ラ機構 FAX 03-5273-9808

委任状 表題の催事で運用する特定ラジオマイクのチャンネルプランを、幹事社及び連盟事務局に委任します。

会社名 _____ 担当者名 _____ (自書押印) 電話 _____ ブース名 _____

※ステップが25kHz 以外のものは条件欄に記入してください。

/	周波数帯(該当する欄に局数を記入)							電力 mW	現行 700MHz 利用社はメーカー名、新周波数利用社はもれなく記入してください				条件
	アナログ			デジタル					メーカー	型式又は名称	TV ch (From-To)	送信可能 周波数幅	
	700 (2・4 帯)	TVWS	711-714	700 (1-4 帯)	TVWS	711-714	1.2G						
		4						10	SHURE	UHF-R UR-1 M6	50-53	692.000-713.875MHz	(記入例)
マイク													第一希望
													第二希望
イヤホン							—						
							—						

(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構 担当: 甲田 TEL 03-5273-9806 FAX 03-5273-9808
E-mail office@radiomic.org

平成29年度 会長・理事・監事・事務局名簿

役職	氏 名	所属会社・団体 役職・部署
会 長	八幡 泰彦	(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構 (株) エス・シー・アライアンス ファウンダー

役職	氏 名	所属会社・団体 役職・部署
1 理事長	渡邊 邦男	(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構 (一社) 日本舞台音響家協会 理事長
2 理 事	石橋 透	尚美学園大学 大学院 芸術情報学部 情報表現学科 教授
3 理 事	上田 好生	(公財) 新国立劇場運営財団 技術部 音響課長
4 理 事	小野 良行	ヒビノ (株) ヒビノプロオーディオセールス Div.
5 理 事	小俣 公洋	(株) 共立 舞台制作事業本部 営業部 営業課長
6 理 事	金光 浩昭	(株) 三光 音響部 副部長 【名古屋】
7 理 事	北口 紀雄	(株) ティー・ピー・オー 代表取締役 【大阪】
8 理 事	小間 新五	(株) サークル 取締役 統括本部 本部長
9 理 事	鈴木 久利	学識経験者
10 理 事	津田 浩之	(株) 千代田ビデオ 総務室 総務部長
11 理 事	東井 幸吉郎	(株) NHK メディアテクノロジー 放送技術本部 音声部 部長
12 理 事	西澤 勝之	(株) クレア・ジャパン 代表取締役 会長
13 理 事	則行 正信	(株) ドリーム 代表取締役
14 理 事	萩原 桂吾	(株) 総合舞台 音響部 取締役
15 理 事	橋本 喜代志	(株) エス・シー・アライアンス サウンドクラフトライブデザイン社
16 理 事	橋本 秀幸	(株) テーク・ワン 技術本部 部長 【大阪】
17 理 事	右田 研介	(株) 若尾総合舞台 取締役 【名古屋】
18 理 事	矢野 学	東宝 (株) 帝国劇場 副支配人
19 理 事	吉田 廣嗣	学識経験者 【名古屋】

1	監 事	伊藤 博	学識経験者
2	監 事	國枝 義久	(株) テイスマン・サービス

事務局 理 事 長：渡邊 邦男

事務局長（総務部長兼務）：木村 和子

グループリーダー：武藤 一郎・甲田 乃次

主 査：松崎 由紀・石川 来夢

一般職員：坂入 将太・井上 舞子

嘱託職員：中島 進

平成29年度 委員会構成

賛助委員会

委員長：宮前真二

委員：五味貞博、高山浩明、日伸音波担当者、深谷麻里子

事務局：渡邊邦男（理事長）、木村和子（事務局長）

技術委員会

委員長：宮前真二

副委員長：甲田乃次（グループリーダー）

委員：藍 康弘、稲留 浩、今岡 隆、小川一朗、北出和夫、橋本喜代志、藤井修三

事務局：渡邊邦男（理事長）、石川来夢（主査）、坂入将太（職員）

特ラ機構技術賞委員会

委員長：渡邊邦男（理事長）

副委員長：武藤一郎（グループリーダー）

委員：八幡泰彦（会長）、石橋 透、上田好生、高山浩明

事務局：井上舞子（職員）

理事候補者推薦委員会

委員長：渡邊邦男（理事長）

委員：鈴木久利、則行正信

事務局：木村和子（事務局長）

理事選挙管理委員会

委員長：西澤勝之

委員：稲留 浩

事務局：渡邊邦男（理事長）、木村和子（事務局長）

特ラ機構レポート編集・広報委員会

委員長：武藤一郎（グループリーダー）

副委員長：松崎由紀（主査）

事務局：渡邊邦男（理事長）、甲田（GR）、石川（主査）、坂入（職員）、井上（職員）

特定ラジオマイク周波数移行対策プロジェクト

リーダー：渡邊邦男（理事長）

サブリーダー：甲田乃次（GR）

メンバー：稲留 浩、亀井敦夫、東井幸吉郎、西澤勝之、橋本喜代志、藤井修三、宮前真二

事務局：石川来夢（主査）

TVWS 運用者認定制度（仮称）検討委員会

委員長：八木信忠

委員：甲田乃次（GR）、五味貞博、鈴木久利、西澤勝之、則行正信、橋本喜代志、宮前真二

事務局：渡邊邦男（理事長）、石川来夢（主査）

注）課題によっては学識経験者、オブザーバーを指名し臨席を請う

平成29年度 事務局体制

事務局員の主たる業務

1. 事務局役員・管理職

渡邊理事長	法人代表として総会、理事会、各委員会の開催。 対外的な対応として、総務省をはじめとする各関係機関との協議、連絡、調整、機構の方針決定等の職務。
木村事務局長	事務局業務（会計・総務・運用調整業務）の統括管理、総会、理事会、各委員会開催補佐等の職務。

2. 事務局職員

武藤グループリーダー	運用調整と管理、総務省情報通信月間関連、信越以南の免許対応継承、レポート編集・広報委員長、特ラ機構技術賞副委員長など、ソフト系グループリーダーとしての職務。
甲田グループリーダー	運用調整システムに係る対応、技術委員会副委員長、レポート編集委員、周波数移行対策プロジェクトサブリーダー、技術的業務の対外対応などハード系グループリーダーとしての職務。
石川主査	総務省全国総通局および情通月間関連への対応、関東以北の免許対応、免許業務の対外対応、運用調整業務。技術委員会およびレポート編集・広報委員会、周波数移行対策プロジェクト、認定制度の事務局担当。
松崎主査	請求入金会計及び現金経理対応、環境維持保全に係わる総務関係実務、レポート編集・広報副委員長、その他、特ラ機構開催の各種会議における事務局長のサポート。
坂入職員	運用調整業務の管理、教示、信越以南の免許対応、技術委員会およびレポート編集・広報委員会の事務局担当、局内ミーティングの告知と記録、環境維持保全。
井上職員	運用連絡業務、総務（報酬給与、社会保険、労働保険）及び経理担当、各種局内データの作成管理、特ラ機構技術賞委員会およびレポート編集・広報委員会の事務局担当、環境維持保全。

3. 事務局嘱託職員

中島職員	事務局コンピューターシステムの維持管理、特命事項の対応、システム管理の継承。
------	--

※以上の担当枠を基本ラインとするが、全職員が流動的に対応する

新規加入会員紹介コーナー

平成29年5月～29年6月

東 北

● CCS スタジオ株式会社

会員番号 020-0039

代表取締役 酒井 彰

入会：平成 29 年 5 月 24 日 移動

ソニー…2 局

〒 992-0044 米沢市春日 4-2-75 株式会社ニューメディア 内

運用担当者 金 順治

TEL 0238-33-9933 FAX0238-33-9934

関 東

● 大井 龍

会員番号 030-0852

大井 龍

入会：平成 29 年 5 月 8 日 移動

ゼンハイザー…4 局

〒 170-0005 豊島区南大塚 3-7-8 ロジイングサクセス 101 号

運用担当者 大井 龍

E メール sound.dragon.001@gmail.com FAX03-6912-8769

● 株式会社アガサス

会員番号 030-0853

代表取締役 内藤 智子

入会：平成 29 年 5 月 18 日 移動

シュア…4 局

〒 105-0001 港区虎ノ門 2-4-1

運用担当者 根本 浩史

TEL03-3591-2444 FAX 03-3593-7888

● 株式会社 Good Pass

会員番号 030-0854

代表取締役 長 寛之

入会：平成 29 年 5 月 19 日 移動

ゼンハイザー…12 局

〒 277-0014 柏市東 1-2-45

運用担当者 新谷 仁和

TEL 04-7193-8977 FAX 04-7128-5585

【ひとこと】株式会社 GoodPass firstsound は音響・照明・映像の機材設備からエンジニア出向を行うイベント総合支援プロデュースを行わせて頂いております。
何卒宜しくお願い致します

東 海

● 有限会社 ミューズ

会員番号 060-0127

代表取締役社長 井浪 淨介

入会：平成 29 年 6 月 21 日 移動

シュア…2 局

〒 491-0051 一宮市今伊勢町馬寄字山島 25-1

運用担当者 林 秀人

TEL 0586-43-5888 FAX 0586-43-5155

近 畿

● 株式会社ワイドウィンドウズ

会員番号 070-0276

代表取締役 篠原 大輔

入会：平成 29 年 6 月 21 日 固定

シュア…2 局

〒 532-0024 大阪市淀川区十三本町 1-7-27

運用担当者 今城 義典

TEL 06-6313-0246 FAX 06-6313-2460

沖 縄

●下地 俊彦

会員番号 110-0017

下地 俊彦

入会：平成 29 年 5 月 8 日

移動

シュア…2 局

〒 901-0151 那覇市鏡原町 32-1

運用担当者 下地 俊彦

TEL 098-859-1810 FAX 098-859-1810

●株式会社ラグナガーデンホテル

会員番号 110-0018

代表取締役 内田 和也

入会：平成 29 年 6 月 12 日

固定

シュア…8 局

〒 901-2224 宜野湾市真志喜 4-1-1

運用担当者 正岡 真伍

TEL 098-897-8788 FAX 098-897-8638

特ラ機構 第17回技術賞 授賞式 報告

功績賞から技術賞へと名称が変わり4回目、今年も中野サンプラザ 11 階「アネモルーム」で開催されました。

下記の要領で委員会を開き、選考しました。

特ラ機構技術賞委員会 委員は以下の通りです。

委員長：渡邊 邦男、（特ラ機構 理事長）

委 員：八幡 泰彦、（特ラ機構 会長）

石橋 透、（特ラ機構 理事 尚美学園大学）

上田 好生、（特ラ機構 理事 新国立劇場）

高山 浩明、（特ラ機構 賛助委員会 委員 株式会社 フォノフ）

武藤 一郎、（特ラ機構 事務局）

アドバイザー：大野 正夫、（元特ラ機構）

以上7名。

応募受付を3月末にて締め切り、事務局にて応募作品のチェック等を行い、4月4日（月）15:00～19:00 エスシー・アライアンス Ast にて、厳選選考いたしました。

以下がその結果です。

6月9日（金）15:45～16:45

特ラ機構通常総会当日、技術賞発表・授賞式を行いました。

長らく静養中の特ラ機構八幡会長も、元気に笑顔で参加されまして、八幡賞をお渡しになりました。

司会進行は、技術賞委員会 委員長の渡邊邦男（理事長）が贈賞、インタビューを行いました。

受賞者のご案内と盾文言を読み上げる授賞式ナビゲーターを、女優の日沼さくらさんをお願いいたしました。

尚、各作品の批評、受賞者へのインタビュー等は紙面の都合上割愛させていただきます。

1 学生部門 参加賞

東放学園音響専門学校 MA ゼミ 殿
タイトル「狂えるおじさん」

「奇想天外の面白いドラマであった セリフは過度のボイスチェンジャー使用があったものの 今後に期待したい」



日沼さくらさん

東放学園音響専門学校 MA ゼミ の皆様には、授業のためご出席いただけませんでした。

2 学生部門 努力賞

尚美学園大学 芸術情報学部
情報表現学科 4年 阿部 真奈美 殿
タイトル「WEARISTA げんじと行く巣鴨
ぶらり旅」

「想定外の出来事も番組に取り込むという現代風なドタバタは爆笑もの 若者たちの感性に拍手 ミキシングに思い切りのよいスピード感が欲しいところであった」



阿部 真奈美さん

3 学生部門 奨励賞

尚美学園大学 芸術情報学部
音楽応用学科 3年 塩入 春佳 殿
タイトル「花が咲く」

「映像・音声とも 約束事から外れている個所がいくつかあったものの マイクアレンジを工夫したセリフの収録は良かった」



塩入 春佳さん

4 学生部門 銀賞

日本大学芸術学部 映画学科 3年
錦織 舞 殿
タイトル「CLOCK」

「冷静沈着なカメラワークとフォーリーが相まって緊張感のある シリアスな内容のドラマに仕上がっていた」



錦織 舞さん

5 学生部門 金賞

尚美学園大学 芸術情報学部
情報表現学科 4年 小倉 望 殿
タイトル「アカサギさんとアカサギくん」

「選曲も含めて 理論と実技をみっちり学んだ結果が良くできていました ロケーション現場での想定外な体験は貴重です」



小倉 望さん

6 学生部門 金賞

日本大学芸術学部 映画学科 4年

吉武 瞳 殿

タイトル「春みたいだ」

「愛憎三つ巴の争いと結末の悲しみを 確かなカメラワーク 音声収録 効果音等により 見事に仕上げていた」



吉武 瞳さん

7 一般部門 努力賞

WOWOW / WOWOWエンタテインメント

BEGIN25 周年記念コンサート・

ライブレコーディングチーム 代表 中村 寛 殿

タイトル BEGIN25 周年記念コンサート

「Sugar Cane Cable Network」 ツアー

2015-2016 at 両国国技館

「PA との分岐回線とは別に 独自に 13 波の特定ラジオマイクを駆使した太鼓の録音で 超大型コンサートの高音質サウンド収録を成功させた努力を称えます」



WOWOW の栗原里美さん

8 一般部門 審査員奨励賞

株式会社 エディスグローブ

第一事業部 村木 まどか 殿

タイトル「ホワイトスペース帯運用レポート

～チャンネルリスト検索システムを活用する～」

「ミュージカル 南太平洋 において チャンネルリスト検索システムを活用し独自の創案により成功に導いた努力を評価します」



村木 まどかさん

9 一般部門 奨励賞

OFDM 方式デジタルラジオマイク

開発グループ

代表 日本放送協会 濱住 啓之 殿

タイトル「OFDM 方式デジタルラジオマイクの開発と実用化」

「高品質なニア PCM 音声信号を 1 ミリ秒以下の低遅延で伝送可能な OFDM 方式特 ラジオマイクの開発と実用化を行なったグループの活動を称えます」



濱住 啓之さん

八幡賞

今年度の受賞作品の中から、一般部門 審査員奨励賞を受賞された、特定ラジオマイク新周波数帯のチャンネルリスト検索システムをフルに活用した、「ホワイトスペース帯運用レポート ～チャンネルリスト検索システムを活用する～」に決まりました。

株式会社 エディスグローブ 第一事業部 村木まどかさんに八幡会長から、クリスタルトロフィーが手渡され、大きな拍手に包まれました。

お元気な、会長のお姿を拝見しつつ、特ラ機構第17回技術賞・授賞式が、お開きとなりました。



八幡会長から村木さんへ八幡賞のトロフィーが手渡されました



八幡会長を囲んで受賞者一同記念撮影

学生部門

- | | | |
|--------|------|-------------------------|
| 1. 参加賞 | タイトル | 「狂えるおじさん」 |
| 2. 努力賞 | タイトル | 「WEARISTA げんじと行く巣鴨ぶらり旅」 |
| 3. 奨励賞 | タイトル | 「花が咲く」 |
| 4. 銀賞 | タイトル | 「CLOCK」 |
| 5. 金賞 | タイトル | 「アカサギさんとアカサギくん」 |
| 6. 金賞 | タイトル | 「春みたいだ」 |

東放学園音響専門学校 MA ゼミ
 尚美学園大学 阿部 真奈美
 尚美学園大学 塩入 春佳
 日本大学 錦織 舞
 尚美学園大学 小倉 望
 日本大学 吉武 瞳



受賞者に手渡される盾とクリスタルトロフィー

一般部門

7. 努力賞

タイトル 『BEGIN25 周年記念コンサート「Sugar Cane Cable Network」ツアー
2015-2016 at 両国国技館』

WOWOW/ WOWOW エンタテインメント

BEGIN 25 周年記念コンサート・ライブレコーディングチーム 代表 中村 寛

8. 審査員奨励賞

タイトル「ホワイトスペース帯運用レポート
～チャンネルリスト検索システムを活用する～」

株式会社 エディスグローヴ 第一事業部 村木 まどか

9. 奨励賞

タイトル「OFDM 方式デジタルラジオマイクの開発と実用化」

OFDM 方式デジタルラジオマイク開発グループ

代表 日本放送協会

濱住 啓之

八幡賞

審査員奨励賞

タイトル「ホワイトスペース帯運用レポート ～チャンネルリスト検索システムを活用する～」

株式会社 エディスグローヴ 第一事業部

村木 まどか

特ラ機構 第17回技術賞 受賞者コメント

BEGIN25 周年記念コンサート「Sugar Cane Cable Network」ツアー 2015-2016 at 両国国技館

この度は、このように素晴らしい賞を頂き大変光栄です。感謝いたします。

今回受賞させて頂いたのは、2016 年 3 月 20 日に両国国技館で行われた、BEGIN の 25 周年記念コンサート「Sugar Cane Cable Network」ツアーのファイナルを収録したもので、大変に思い出深い作品です。

WOWOW での生中継に加えて、96kHz/24bit リニア PCM（ステレオ）と Dolby Atmos -True HD(7.1.4 サラウンド)の高音質オーディオを採用した Blu-ray を制作しました。PA との分岐回線とは別に、独自にワイヤレスマイクを採用し”琉球國祭り太鼓”と”サンバ隊”の音を録音しました。

初めて挑戦する技術もあり、機材選定・システム構築・マイクプラン等、何度もテストを重ね考えました。新しい技術に挑戦するからといって、失敗は許されません。生中継を最優先に考え、絶対的な安全性を考えた録音プランを構築しました。

チーム一丸となりこの番組に取り組んだことで、より思い出深い作品になりました。音や仲間のたくさんの協力のおかげで、この賞を受賞することが出来たと思います。

そして何より、素晴らしい BEGIN チームの一員として、この作品づくりに参加できたことに感謝いたします。アミューズ、テイチクエンタテインメント、WORK OUT、デルタ音響、楽器チーム、他コンサートスタッフの皆様ありがとうございました。

「♪夢は色々ある方がいい。夢の数だけ あつり、乾杯！♪」

BEGIN25 周年記念コンサート・ライブレコーディングチーム WOWOW 栗原里実



渡邊理事長（左）と栗原さん



栗原さんと代表の中村 寛さん

「花が咲く」

この度は、学生部門奨励賞を頂き、誠にありがとうございました。

この作品での収録では、特にワイヤレスピンマイクの付け方や位置に工夫をしながら撮影を行いました。

その結果、衣擦れ音を少なく明瞭度を意識して収音をすることができました。しかし、ガンマイクの使いこなしが上手く出来ず、画面に対する奥行きなどを表現することができませんでした。

また、MAの段階では、カットごとのベースノイズの違いをなるべく無くすことを意識して行いましたが、全体的にセリフや足音のレベルが一定になってしまい、演技の迫力や位置関係を上手に表現できませんでした。

今後はこのような点を活かし、映像に音を付けるという事を意識しながら、同録音や効果音・音楽のミックスの技術を高め、人に感動してもらえるような作品を制作できるように研究をしていきたいと考えております。

将来、私はドラマ・映画の録音に携わりたいと考えております。また、卒業制作では観た人がその作品の世界観にのめり込めるように音を作り上げたいと思っています。

今回、賞を頂いたことを糧に、録音・MAの基本と工夫をしっかりと考え作品を作り上げていきたいと思えます。この度は、ありがとうございました。



尚美学園大学 芸術情報学部 4 年 塩入春佳

「WAARISTA げんじと行く巣鴨ぶらり旅」

この度は、学生部門努力賞を頂き、誠にありがとうございました。

この作品は昨年の今頃、仲間達と試行錯誤しながら制作していました。様々な意見を交わし、ロケ地やスタッフの人数を配慮して撮影を行いました。

現場である巣鴨地蔵通り商店街の皆さまには、色々と協力頂き、完成した作品です。収録は、芸人でありWEARISTAとして活躍している「げんじ」氏にワイヤレスピンマイクを仕込み、それ以外の出演者は、ガンマイクでフォローする技法を取りましたが、近くに大きな道路があったこともあり、ミックス時に大型車の音や緊急車両の音に配慮しました。また、げんじ氏に水をかけるシーンでの、ワイヤレスマイクの水と汗対策も重要な課題でした。

私は現在、テレビの制作の仕事に就いています。現在、音と直接関わることは無くなってしまいましたが、この作品を制作する過程で得た知識や経験を今後の仕事に活かしていきたいと思っております。

ありがとうございました。

今後の機構の益々のご発展をお祈り申し上げます。



尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科（卒業）阿部 真奈美

「アカサギさんとアカサギくん」

この度、学生時代の集大成とも言える作品で金賞を頂くことが出来、大変光栄に思います。

この作品は、一眼レフによる撮影だったため、マルチチャンネル・レコーダーにより音声収録を行い、2Mixをカメラに送りました。その為、編集済みの音声をレコーダー収録の音声に差し替えており、カット毎にリップシンクのズレがない様、細かい修正をする事が一番大変でした。

また撮影は、交通量の多い場所や、虫の鳴き声のある場所が多く、ワイヤレスピンマイクを役者に仕込みましたが、カット毎のベースノイズの整音にも苦労しました。

出演者は、プロの役者さんに依頼した事や、ロケ場所を提供して頂いたお店の方など、3年次に制作した作品以上に多くの方々にご協力頂き、大変感謝しています。協力して頂いた人たちのおかげで良い作品が出来たなと思っています。

また作品に合わせて、知人に制作してもらった楽曲が作品の出来をより良くしてくれていると思います。
この作品で賞を頂けたことを大変嬉しく思います。ありがとうございました。



尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科（卒業）小倉 望

マラソン、駅伝・イベントの情報

猛暑日が続き、5号台風が迷走しながら、長雨を続けましたが、その後も雨の日が多く、夏らしい夏のイメージがないまま、夏も終盤ですが、9月に入っても、暑い日は続くはずです。

体調にはくれぐれもご注意ください。

今号からマラソン、駅伝情報を掲載します。

いつもながら、早めの運用連絡と綿密なお打ち合わせをお願い致します。

イベントは各会場のイベントカレンダーなどから、マラソン・駅伝は、(公財)日本陸上競技連盟等を参考に、平成29年度の主要競技会日程から選んでみました。9月中旬～11月中旬のものです。

◎マラソン・駅伝

日 程	競 技 会 名	場 所
10月6日～10日	第72回 国民体育大会	愛 媛 (松 山)
10月9日	第29回 出雲全日本大学選抜駅伝	島 根 (出 雲)
10月29日	第35回 全日本大学女子駅伝	宮 城 (仙 台)
11月5日	第49回 全日本大学駅伝	愛 知・三 重
11月12日	第33回 東日本女子駅伝	福 島 (福 島)
11月12日	第3回さいたま国際マラソン	埼 玉 (さいたま)

◎イベント

日 程	展 示 会 名	会 場
9月13日～15日	★フードシステムソリューション2017	東京ビッグサイト
9月16日～18日	Pet 博 2017	ポートメッセなごや
9月21日～24日	★ツーリズム EXPO ジャパン 2017	東京ビッグサイト
9月21・22日ビジネス 9月23・24日 一 般	★東京ゲームショウ 2017	幕張メッセ
9月27日～29日	★第44回 国際福祉機器展 H. C. R. 2017	東京ビッグサイト
10月3日～6日	★ CEATEC JAPAN 2017	幕張メッセ
10月11日～13日	★ ITpro EXPO 2017	東京ビッグサイト
11月3日～5日	★サイクルモードインターナショナル 2017	幕張メッセ
11月8日～10日	★第7回情報セキュリティ EXPO 秋 他	幕張メッセ
11月15日～17日	★ジャパンホームショー 2017	東京ビッグサイト
11月15日～17日	★産業交流展 2017	東京ビッグサイト
11月15日～17日	★ INTER BEE 2017	幕張メッセ

★：A型ワイヤレスマイク複数社同時使用実績あり

♪ ルールを守って、クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク 「ちょっと非日常を～1ヶ月キャンペーン～」のススメ

4月に入局した井上と申します。新しい仕事はまだまだ慣れませんが、生活のサイクルができて、体調に良い面があるなと感じます。ただ、あまり意識しないと同じことの繰り返しの日々になることも…。

以前、「1日1つ新しい事をする」と意識し、それを実行して過ごすと、何か変化を強いられた時に柔軟に対応できると聞いたことがあります。新しい事に免疫ができるようです。生きている限り、予想外の出来事なんてものは、いくらでもやってきますし、受け入れる心と行動力を備えておきたいと思ったものです。

そうは聞いたものの、1日1つの新しい事を見つけて、実行するは意外と大変でした。

そこで今回、ちょっとブレイクを書く機会を頂きましたので、皆様にご提案。

日々現場で忙しく走り回っている方にも、毎日単調に過ごしている方にも、ほどほどお忙しく過ごしている方にも、新しい事までとはいかなくても、少しいつもと違う行動・視点を意識してみると日常に刺激を与えることができるかもしれないと思い、わたくしが勝手に「ちょっと非日常」を軸に、カレンダーを作成いたしました。ふと思い出した時に、下記のカレンダーに書いてあることをご参考にやってみていただき、何か新しい世界が見えるきっかけになれば嬉しいです。

中には、普段からやっている事もあるかと思いますが、その時はご自分で新しいことにTRYしてください。

また、これが面白く感じられたら、1ヶ月に限らずドンドン色々なことを見つけて続けていってください。

1日	朝起きたら声にだして「おはよう」を言う	17日	家族・友達にプレゼントしたい物を探す
2日	帰り道、10歩スキップして進む	18日	でんぐり返しをしてみる
3日	花を愛でる	19日	「お先にどうぞ」と言う
4日	珍しい果物を買う	20日	10秒間手のひらに水を貯める
5日	隣の人に飴をあげる	21日	帰り道、後ろ向きで15歩進む
6日	自分の手のひらをマジマジとみる	22日	今日の月はどんな形か確認する
7日	いつもより大きい声で挨拶する	23日	コンビニで新商品を1つ買う
8日	4.5才の時の友達を思い出してみる	24日	子供を見かけたら微笑む
9日	シラスを一匹ずつ食べる	25日	鼻歌で曲を作ってみる
10日	何かにぶら下がってみる	26日	お風呂でクラゲを作ってつぶす
11日	心から綺麗と思えるものを探す	27日	こっそり木に触れてみる
12日	帰り道、数メートルダッシュする	28日	海苔を割いて食べる
13日	切符を買って電車に乗る	29日	18才時の友達に手紙を書いてみる
14日	素敵な事をしている人に微笑む	30日	炭酸水でうがいをする
15日	ペプシとコカ・コーラを飲み比べる	31日	カレンダーを誰よりも多くめくる
16日	「ありがとう」を沢山言う		

皆さんが思いついたちょっと非日常的な事がありましたら教えてください！ My カレンダーに入れます。

事務局員 井上 舞子

第45回 東京モーターショー2017 について

今年 10 月末に第 45 回東京モーターショーが東京ビックサイト東ホール、西ホールの全スパンを用いて、一般社団法人日本自動車工業会の主催により盛大に執り行われます。

特定ラジオマイクの運用については、一昨年の 2015 年第 44 回では合計 250 局に及ぶ運用調整、周波数配分を行いました。

周波数移行がほぼ完了した今回は約 300 局以上の運用が見込まれます。

運用周波数では 1.2GHz 帯の普及も目覚ましいところですが、多チャンネルプランを組む上では TVWS 帯での工夫が求められるところであり、デジタル方式が推奨されます。

アナログ方式に於いてはブース間の 3 次高調波を軽減する意味からもひとつの TVch に集中しないような分散配置を行う予定です。

持ち込み機材に関するお願い等ご理解、ご協力の程 よろしくお願い致します。

「第 45 回 東京モーターショー 2017」東京ビックサイト（東・西ホール）

主 催：一般社団法人日本自動車工業会

プレスデー	10 月 25 日（水）～ 10 月 26 日（木）
オフィシャル／プレビュー	10 月 27 日（金）
一般公開	10 月 28 日（土）～ 11 月 5 日（日）

尚、運用に関しては東京モーターショー事務局への「ワイヤレスマイク使用届」を、9 月 1 日までに（web オンラインページより）届けて頂くと共に、特ラ機構 事務局にも通常の運用連絡を 10 月 10 日までに申請頂きます様 お願い致します。

2017 F1 日本グランプリに於ける臨時無線局の運用について

下記内容にて、特定ラジオマイクと同じ周波数帯を使う臨時の無線局が運用されます。

周辺に於いて特定ラジオマイクを運用されるご予定がありましたら、あらかじめご留意下さい。

なお、提出頂いた運用連絡に対して本無線局との干渉が心配される場合には、その旨の「運用調整についてのお願い」をお送り致します。

催 事 名 : 「2017 F1 日本グランプリ」

運 用 日 程 : 平成 29 年 10 月 2 日 (月) ~ 8 日 (日)
(前 1 週間程度は準備等で運用される可能性あり)

運 用 場 所 : 三重県鈴鹿市稲生町 7992 鈴鹿サーキット構内

運 用 者 : 株式会社フジテレビジョン、モータースポーツ無線協会

運 用 周 波 数 : 573 ~ 714MHz のうち約 120 局

送 信 出 力 : 0.01 ~ 2W

事務局便り

**特定ラジオマイクの運用連絡票は
運用 2 日前 (※) までに
提出してください!**

- 運用日直前の提出は運用調整のための打ち合わせが出来なくなる恐れがあります
- 現行周波数帯 (770 ~ 806MHz) では携帯電話との共用調整 (電波停止) に時間的余裕が必要です

※事務局が休みとなる日・祭日を除いた2日前です

**現行周波数帯 (770 ~ 806MHz)
特定ラジオマイクの使用期限は**

最長で

平成31年 (2019年) 3月31日

まで

これ以降は一切使用できなくなります!

**特定ラジオマイクの運用連絡票は
記入漏れ・誤りのないようお願いします!**

注意すべきポイント

- ① 会員番号は正確に
- ② 催事名は必ずご記入下さい
- ③ 現地担当のご連絡先を忘れずに
- ④ TVホワイトスペース帯は

チャンネルリストに沿った運用チャンネルをご指定下さい

※アナログとデジタル、使用できるチャンネルの間違いにご注意下さい

■再免許申請 (免許更新) について

平成 30 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許 (免許更新) 準備の時期になりました。今回は、いよいよ新周波数帯 (TV ホワイトスペース帯 & 1.2GHz 帯) の再免許も始まります。

該当する会員には、再免許が必要なマイクの情報と、再免許申請手続きの自己申請もしくは特ラ機構扱いを選択するための調査用紙、委任状をお届けします (平成 29 年 10 月下旬を予定)。調査用紙や委任状につきましては、必要事項をご記入・押印の上、お早めにご返送下さい。特ラ機構扱いを選択された会員には、再免許に係る費用の請求書をご送付させていただきます。

免許状の記載内容 (免許人名、住所など) に変更がある場合は、そのままでは再免許申請ができません。総務省総合通信局へ変更申請・届をした上で再免許申請を行いますので、該当する場合は当機構事務局へご連絡下さい。

また、再免許対象となる現行周波数帯 (770 ~ 806MHz) のマイクのうち、平成 30 年 5 月末日までに新周波数帯へ完全に移行できるものについては、再免許の必要はございません。(一社) 700MHz 利用推進協会の取次協力会社様等とよくご相談の上、再免許申請が必要か否かをご判断下さい。

事務局便り

■平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）機構関係費用の 予算計上をお願いします。

自治体、公共団体等の予算編成の時期がやってまいります。関係会員には平成30年度に必要な機構関係費用を「予算書」として7月下旬にお送りしました。

「予算書」は次年度に特ラ機構から請求させていただく予定の金額を前もってお知らせするものであり、今年度（平成29年度）の金額ではありませんのでご注意ください。

免許の有効期限が平成31年5月31日のマイクを保有している場合は、平成30年度中（平成30年12月～平成31年2月末日）に再免許申請が必要ですので、再免許関係費用も予算書に併記合算しております。

■平成29年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

平成29年度機構関係費用の請求書を4月下旬にお送りさせて頂きました。お振込み期限は平成29年7月31日でしたが、まだお振込いただいていない会員社がいらっしゃいますので、至急お振込みをお願いいたします。

編集後記

お盆に夏休みをいただき帰郷いたしました。

お盆の飾り付けをして、迎え火を焚いて先祖の霊を招き、送り火を焚いて見送りました。ゆっくり過ごそうとの思いも、雨の日が多く、湿度も高く“スッカリ”しない毎日でした。

東京では8月の天気が記録的な雨の日続きとか、アメリカでは皆既日食が見られましたが、日本で今度見られるのは、2035年9月2日とのこと、見られるかな？・・・。

晴れ渡る夜空の星をグラス片手にしみじみと眺めたいものですね。

（武藤）